

山崎・台峯緑地（都市緑地）実施設計（案）市民説明会 会議録

日時：令和8年（2026年）1月27日（火）

時間：午後7時00分から午後8時15分

場所：鎌倉商工会議所 301 会議室

1 出席者

（1）市民：24名

（2）事務局：鎌倉市都市景観部 田中 次長（兼 みどり公園課長）

みどり公園課 整備担当 北村 課長補佐（兼 担当係長）

木村 主事、水谷 主事

セントラルコンサルタント株式会社：3名

2 議題

（1）山崎・台峯緑地（都市緑地）実施設計（案）について

3 議事内容

（1）山崎・台峯緑地（都市緑地）実施設計（案）について

事務局から資料に基づき、山崎・台峯緑地（都市緑地）実施設計（案）について説明

[市民]

説明ありがとうございました。質問が何点かあります。

ツノ坂の整備について、ぬかるみ対策として園路に素掘り側溝を設ける案ですが、ほぼ平坦なところで素掘り側溝はもったいないのではないかと感じます。急勾配部に素掘り側溝を設けると流水で浸食が起きやすく、路面崩壊や表土流出が生じやすいと見てきました。これらの対策は検討されていますか。

階段や柵の素材について、逗子・葉山でのボランティア活動で12年前に設置した天然木ベンチは防腐処理のみで良好に保たれています。台峯の計画では天然木のサイン類の土台にコンクリートを使うなど腐りやすい箇所に配慮しているので、可能であれば階段や柵も天然木での採用を再考してほしいです。

自転車・オートバイの通行について、現状は法的拘束力がないと聞いていますが、入口案内に「乗入れ禁止」と表記されているため、守る人と守らない人で差が出ています。タイヤ跡も見られるため、供用開始前に通行条件を早めに調整・策定して改善してほしいです。

[鎌倉市]

ご指摘ありがとうございます。

ツノ坂の排水整備について、素掘り側溝による洗掘の発生は想定されます。一次対応とし

て素掘り側溝を設け、二次対応として近隣の竹林の発生材を活用して竹を敷くなど表土流出を抑える方法を検討します。その際はボランティアの協力も得ながら検討したいと考えています。

階段・柵の素材について、素案で天然木、プラ擬木、コンクリート擬木の3案を検討し、耐久性の観点からコンクリート擬木を採用する理由があります。ぬかるみのある箇所では天然木が腐食しやすい点を考慮し、安全性・耐久性を重視して人工物を採用する方針です。

通行条件について、既に入口案内板に「車両を乗り入れないでください」と記載していますが、現状法的拘束力はなくお願いする表現となっています。警察や道路管理者と協議し、適切な表現を早急に固め、案内サインに反映したいと考えています。

[市民]

丁寧にありがとうございます。ここ数回欠席していたので経緯はわからないのですが、やはり階段は天然木をメインで採用してほしいです。施工方法やコストは理解しますが、実際に歩くとコンクリート擬木周辺は雨で土が流出して歩きにくくなっている箇所があります。歩きやすさや滑りにくさの観点から天然木が優れていると感じます。間伐材をチップにして敷く事例もあるので、鎌倉でも検討して良い道を作ってほしいです。

[鎌倉市]

ご意見ありがとうございます。市は公園管理者として安全面を第一に考えており、腐食による劣化を考慮すると耐久性の高いコンクリート擬木を採用したいという考えです。土砂流出対策としては階段の袖壁設置などで踏みしろ部分の土が流れないように工夫します。さらに竹チップ等の自然素材を活用して歩きやすさを向上することも検討します。発生材の活用については、資料の最後に薪や竹チップの事例を示しており、緑地内の竹を活用できるか検討します。竹チップ製造の方法は機械導入や業者委託など多様な選択肢を検討します。

[市民]

本日も場を作っていただきありがとうございます。いくつかあります。

ツノ坂については地域に長年住む方から重要な場所だと聞いており、現在ぬかるみで困っていると伺っています。近隣の小学生が防災学習で井戸や山を見学しており、ツノ坂周辺には井戸が多いことが子どもたちにも伝わっています。ツノ坂は清水が出る場所で、普段はぬかるんでいるとのことなので、子どもたちの学びの場として残してほしいという視点も理解していただきたいです。

私は台峯麓に住んでおり、隣家の上方に大きく張り出している木があり、一人暮らしのご高齢の方が不安を抱えています。傾斜地の危険木や張り出した木の撤去も検討していただきたいです。詳細は改めて報告します。

供用後の市民団体の役割や年間計画は現状案が現実と乖離していると感じます。連絡会

で植生や作業の具体事項について市民団体も含めて詰めてほしいです。

チップターの件について、竹の活用は有効だと思いますが、機械は高価で維持管理も大変です。市が中心となって導入や運用方法を検討していただければ助かります。

[鎌倉市]

防災井戸については、確認します。

危険木の伐採は初期整備の範囲で、民有地に隣接する箇所について危険木対応を行う予定です。また、個別に連絡いただければ現地確認します。

役割分担や年間計画については、連絡会の中で詳細を協議し、実態に即して調整します。

チップターは購入費・管理が課題であるため、購入以外にチップター保有の業者へ委託するなど複数の選択肢で検討します。

[市民]

初期の計画で検討されていた公園灯や水飲み場が廃止された分をチップターの予算に回してほしいです。

[鎌倉市]

基本設計の段階では当初公園灯や水飲み場の設置を検討していましたが、削減分を別目的に回す考えは持っていません。必要に応じて予算要求を行う考えです。

[市民]

資料の 9 ページのコンクリート擬木階段写真に袖壁が写っていませんが、これはたまたま写っていないだけで、基本的にはすべての階段に袖壁を付け土砂流出を防止する理解で良いですか。

[鎌倉市]

はい、その理解で問題ありません。

[市民]

擬木ではなく天然木や現地の枝葉・土を使って路面を固める方法も有効であり、腐った際にも周辺の間伐材等で補修しやすい利点があります。コンクリートは保全性や再利用の面で地域の保全活動と相性が悪いです。里山としての景観保全や地域の長年の知見を活かし、住民と連携して台峯ならでの整備方法を検討してほしいです。

[鎌倉市]

ご意見ありがとうございます。安全面に関わる階段や転落防止柵等は市として耐久性・安

全性を重視し人工物を基本採用したいと考えています。一方で土砂流出や滑り対策については発生材を活用して自然素材で対応できる箇所は検討したいと考えています。連絡会を通じて地域の意見を反映しながら維持管理方法を詰めていきたいです。

[市民]

連絡会について、12月開催に参加希望したが席が足りず参加を断られました。連絡会は維持管理を行っている団体等を中心に進めているとのことですが、今後は昔からの住民や新たな参加希望者も参加できるよう改善を検討してほしいです。

[鎌倉市]

参加者については活動実績等を踏まえて精査する必要があると考えています。

[市民]

子どもの目線を取り入れてほしいです。未就学児から大学生までが山を使い学ぶ場として活用・保全できるよう、子どもの目線と取り入れて計画を検討してほしい。

[鎌倉市]

子ども・学生の関与は重要な視点であり、山崎小学校で課外活動されていることは把握しています。こちらは山崎・台峯緑地の計画地で用地取得を進めていますので、今後は活動されているボランティアと連携し、児童・生徒が使いやすい形での活用を検討していきます。

[市民]

年齢とともに山の楽しみ方が多様化するため、すべてを人工的に整備してしまうのではなく、子どもたちが触れ合える余地を残してほしいです。

[鎌倉市]

管理者としては安全を第一に考え人工物を採用していますが、施設整備は必要最小限にとどめ、それ以外は自然が残る形にする方針です。